

多 古の伝統を守り続ける -7月25・26日-

※修祓とは…
みそぎはらえをすること。(小学館 新選国語辞典第九版)

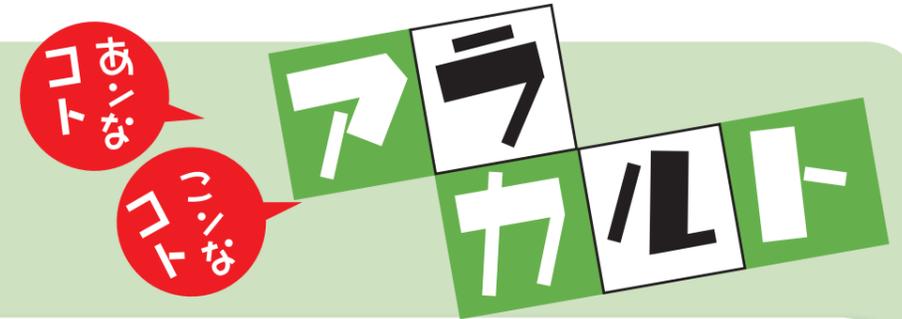
八坂神社で祇園祭が執り行われました。今年度も、新型コロナウイルス感染症防止のため、屋台運行が中止となり、舞台の設置や演舞などは行わず、修祓としかご舞(笛のみ)が実施されました。

夕闇の中をちょうちんが淡く光を放ちながらしの笛の音色で空間を包み込みました。このように、コロナ禍でも江戸から続く多古祇園祭の伝統を守り続けています。

来年こそコロナが落ち着き、祭りばやしが町内に響き渡りますように。



町の出来事や頑張っている皆さんを紹介するアラカルトコーナー。
このコーナーでは、皆さんからの情報をお待ちしています。
〒289-2292
多古町地方創生課広報係
☎76-5417



プ ロレスで町に笑顔と元気を -7月11日-

コミュニティプラザ文化ホールで「多古町チャリティープロレス」が開催されました。今回のイベントは二部構成となっており、エンターテインメント部門では多古町出身の演歌歌手祐太(U-ta)さんをはじめ、マジシャン、ロックミュージシャン、アイドル、お笑い芸人など、いろいろな方々が集まり会場を沸かせてくれました。

プロレス部門ではあのザ・グレート・サスケ選手や、大谷晋二郎選手など、大勢のプロレスラーの方々が参戦し、観客席も巻き込んで大激闘を繰り広げました。

自粛が続く中、多古町を元気づけようと開催された今回のイベントは、来場された方々に笑顔と元気を届けてくれたことでしょう。

集まった募金は社会福祉協議会に寄付していただきました。



発見!
TAKO LOVEびと
たこラブびと
KAJI さん

このコーナーでは、多古町や町民の皆さんと関わる「関係人口」(*)に注目し、町外にお住みの方で多古町と“縁”ができた方をご紹介します。
(*)【関係人口】地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

KAJIさんは、平日は会社員として働いている傍ら、アマチュアながら航空写真家として活動されています。今年の5月には成田空港周辺だけで構成された2冊目の写真集『jet photogenic II NARITA』を出版しました。

今回、自身の作品を子どもたち、町民の皆さんに見ていただきたいという思いから、写真集を寄贈していただきました。寄贈された写真集は、小・中学校の図書室、町立図書館にありますので、ぜひご覧ください。



——成田空港の魅力はどういうところですか

世界各国から色とりどり、多くの種類の飛行機が集うだけでなく、自然が豊かです。特に花は桜をはじめ一年を通して楽しめ、これだけの花が咲き乱れる空港は、世界的にも珍しいと思います。また、霧などの自然現象も成田空港の名物といえます。

2本の滑走路とも陸地にあり、360度どこからでも撮れるので、撮影ポイントも探しがいいある空港で、まだまだ見たことがない風景との出会いを求めています。

——空港周辺地域の魅力はどういうところですか

2018年から約3年間、毎週自宅のある横浜から成田空港に通い続けており、多古町からも撮影しています。多古町は特に田園風景が魅力的で、田植えの季節はおいしい多古米を想像しながら撮影しています。

多古町でも将来的に第3滑走路が完成し、その近くに公園もできると伺いました。公園が完成したら、ぜひその場所からしか撮れない飛行機を撮ってみたいですね。

来 年もあじさいがきれいに咲きますように -7月12日-

多古町の初夏を美しく彩るあじさいがきれいに咲き続けるように「あじさい遊歩道いきいきプロジェクト」を行いました。

この企画には、多古高生や地元企業、バス会社(JRバス関東・千葉交通)、成田空港関連企業(ANA・JAL・NAA)、町職員など、総勢約100人が参加し、あじさいの剪定を手作業で行いました。

1株ずつ丁寧に剪定したあじさいが、来年も色鮮やかに咲き誇り、訪れる多くの方々に癒やしてくれることを願っています。



暑い中剪定作業をする皆さん